

# 腰部脊柱管狭窄症の手術を受ける様へ

	手術前日	手術当日・手術前	手術当日・手術後	1日目	2日目
月日	/	/	/	/	/
目標				・リハビリを開始します	・トイレまで歩行できることを目指します
治療検査	・全身麻酔の場合、麻酔科に受診します (ただし、休日の場合は別の日に診察します)	・手術前に弾性ストッキングを履きます ・手術が午後からの場合、回診時点滴をします 	・手術後に血液検査をします  ・手術後の点滴は翌日まで続きます ・酸素吸入をします	・血液検査をします  ・抗生剤の点滴を朝・昼・夕に行います ・コルセットを装着します 	
処置	・コルセットの準備がない場合は、採寸し注文します		・血栓予防のため足の血流をよくする機器(AVインパルス)をかけます (翌朝まで)  ・手術中に創部に管が入ることがあります 	・ガーゼ交換をします	・足の血流をよくする機器(AVインパルス)をかけます(1時間) ・創部の管を抜きます
安静			・ベッド上安静です(上向きの体位) 看護師の介助で横向きになれます	・コルセットをつけて自分で横向きになれます	
食事	・麻酔科医師から食事と水分制限があります 食事( )まで出来ます 飲水( )まで出来ます 			・腸の動きを確認して朝からお粥が出ます ・看護師がコルセットを装着し、ベッドを起こして食事が出来ます	・普通食が出来ます (医師の指示により治療食となる場合があります) 
排泄	・手術後の排泄について説明します	・早朝(朝6時ごろ)坐薬を使用します	・手術中に尿管が入ります	・排便は紙オムツを使用します	
清潔	・入浴又はシャワー、洗髪・爪切りをします			・洗面介助をします ・身体を拭きます 	
観察	・手術前の状態を観察します		・手術後の状態を観察します	・良い姿勢・下肢や足首の運動・体位について診ていきます	・歩行状態を診ていきます
教育指導	・看護師が手術についてと手術後の生活について説明します ・必要物品の確認をします ・深部静脈血栓症について説明します ・薬剤師がお薬について説明します ・入院診療計画書をお渡ししますので、署名の上お出してください ・主治医より手術治療計画について説明します		・AVインパルスについての説明をします ・主治医より手術後の説明があります(手術中、家族は病院内に待機してください)	・ベッド上でのリハビリについて説明します ・看護師と共にコルセットを装着します 状態をみながら起き上がり、座り方、体位の変え方の練習をします ・1人で横向きになる方法を看護師が説明します	・ベッドから起き上がり方と車椅子・歩行器の使い方の説明をします ・トイレの動作について説明します
リハビリ	・リハビリ室にて運動機能を調べます ・コルセットがあればコルセットを使用し、コルセットの装着方法、起き上がり、体位の変え方、座り方の練習をします		・足の運動を下図のように始めましょう <足の指と足首の曲げ伸ばし> 	・床上でのリハビリを開始します ・横向きになる方法を練習します ・日常生活動作の練習をします (ただし、休日の場合はリハビリ開始日が休日明けとなる事があります)	・ベッドから起き上がり、徐々に練習を始めましょう
説明者					

※状態に応じて予定が変わることもあります。何か質問があれば看護師にお聞きください。

主治医( ) 担当看護師( )

入院負担割合	3割	70歳以上(1割)	70歳以上(2割)	70歳以上(3割)
負担額	約360,000円	約75,000円	約75,000円	約280,000円

\*入院費は概算ですので診療内容・病状・使用した材料・手術点数等により異なる場合があります。2020.4.10☆

月日	3日目	4日目	5～7日目	8日目	9日目	10日目	11～12日目	
目標	・病棟内を歩行できることを目指します		・リハビリをすすめて病院内を歩行でき、また、日常生活動作が安定して行えることを目指します				・歩行状態が安定すれば、退院できます	
治療検査	・血液検査をします 		・腰のX線写真を撮ります(7日目) ・血液検査をします(7日目) 			・抜糸をします	・抜糸後の創の状態を診ます ・血液検査をします(11日目)  	
処置	・足の血流をよくする機器(AVインパルス)をかけます(1時間) ・管を抜いたところの診察をします							
安静			・徐々に歩行距離を伸ばしていきます					
食事	・普通食がでます (医師の指示により治療食となる場合があります) 							
排泄	・状態を見て尿の管を抜きます ・トイレで排泄できます							
清潔			・洗髪します(1回/週) ・身体を拭きます(2回/週) 				・医師の許可があればシャワー浴が出来ます 	
観察	・良い姿勢・下肢や足首の運動・体位について診ていきましょう		・歩行状態を診ていきます					
教育指導	・排便コントロールについて考えましょう		・コルセットの着け方と注意点について再度確認します ・薬剤師がお薬について説明します ・院内歩行が安定すれば、弾性ストッキングは脱ぎます 				<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院内歩行が安定すれば退院出来ます</li> <li>・退院療養計画をお渡ししますので、署名の上おたください</li> <li>・神経症状(しびれ等)の回復には時間がかかるので、外来で引き続き様子をみていきます</li> <li>・退院に向けて生活に必要な物がないか確認します</li> <li>・退院後の生活面で不安や心配な事があれば看護師におっしゃってください</li> <li>・車の運転など、気になることがあれば個人差があるので主治医の先生と相談しましょう</li> <li>・回復の状態によっては転院を相談する場合があります</li> </ul> 	
リハビリ	・下肢挙上訓練を行っていきましょう							
説明者								